

令和2年度 上田市立第五中学校グランドデザイン

【学校長の願い】

- ・学校へ来るのが楽しい。
- ・できる、わかる授業づくり。
- ・自治力・チーム・集団づくり。
- ・自他を承認、尊重する生徒。

学校教育目標

人間性豊かで主体的に問題を解決する生徒

上田市教育支援プラン

- ① 学ぶ意欲を育む授業
- ② きめ細やかな個に応じた指導
- ③ 安全・安心な学校づくり
- ④ 地域に信頼され、地域に開かれた学校づくり

【地域、保護者の願い】

- ・いじめ差別のない明るい学校
- ・わかる授業 楽しい授業
- ・挨拶、無言清掃がよくできる
- ・部活動の充実

【学校を取り巻く環境と生徒】

- ・五中応援団「チーム鳳」
- ・保護者に卒業生が多く、学校活動に協力していただいている
- ・校外活動では、地域の自治会や振興会が支援して下さる

めざす生徒像

- 心豊かな生徒
- 自ら考え実践する生徒
- 健康でたくましい生徒

【生徒の実態】

- 素直で明るく、落ち着いて学習できる
- やや受け身的な学習態度
- 課題: 創意工夫と自信を持つての自己表現・行動する態度や力

【生徒の願い】

- ・いじめのない楽しい学級、学校
- ・もっと知りたい、わかりたい
- ・わかる授業・楽しい授業

心豊かな生徒

<豊かな感性>

- 明るい挨拶ができる生徒
- 思いやりのある生徒
- 美しさやよさを感じることができる生徒
- 奉仕活動が率先してできる生徒

自ら考え実践する生徒

<確かな知性>

- 自己の目標に向かって励む生徒
- 創造的な知性と技能をもった生徒
- 的確な判断をし、行動できる生徒

健康でたくましい生徒

<あふれる意欲>

- 健康で安全な生活ができる生徒
- 気力・体力をそなえた生徒
- 困苦を乗り越える知恵をもった生徒

本年度の重点目標

- ① 振り返りの時間を確保し、わかったと実感できる授業づくり
- ② 「生活の三重点」を徹底し、自ら築く安心安全な楽しい学校
- ③ 「五中人権宣言」を基に、いじめや差別を見抜き・許さない学級づくり

学力向上

目標: 各種学力調査偏差値 50ポイント
全校テーマ「共に学び合い自ら学びを深める生徒の育成」

- 互いに学び合える集団づくり
- 生徒が主体となる授業
- 生徒と共に「学習課題」を設定し【ねらい】、「学び合い」の場面をつくり【めりはり】ねらいの達成を見とどける振り返りの場面を持つ【見とどけ】。
- ・学習課題(めあて)、授業のまとめを板書する。
- ・振り返りでは、生徒が自分の言葉で授業をまとめる場面を設定する。
- ・授業のUD化(ICT機器の活用)
- 家庭学習の取り組みの充実(授業の予復習)
- ・学力と生活習慣を関連づけた指導。
- ※「紡ぐ」を活用した指導
- 授業力向上のための研修
- ・授業改善の研究を教科の枠を越えたグループを組織し、日常に活かせる研修を行う。

学校評価目標

学校経営 ●学校での生活が楽しい **91%以上**

学力向上 ●先生の授業は分かりやすい **92%以上**

生徒理解 ●先生は悩みなど相談にのってくれる **90%以上**

(各数値は、生徒の学校評価アンケートを基に決めました)

学級経営と生徒指導

- ◇存在感や自己実現の喜びを実感できる集団づくり
- QUを活用した適切な生徒理解
- 教育相談や毎月のいじめアンケート等を通してきめ細かな生徒支援
- ◇学習環境づくり
- 内外の整理整頓と奉仕活動
- 学級開きの充実と学級経営の見返
- ◇心身の健康保持増進
- 部活動への粘り強い取り組みと心身の鍛錬
- 奉仕活動を通して支え合いの精神の育成
- 個に寄り添った生徒支援
- 不登校・不適応傾向の生徒に対して、各関係機関と連携・対応
- 人権教育・道徳教育を通して支え合う集団づくり

生活の3重点の徹底

『あいさつ』『無言清掃』『時間を守る』

五中地域との連携

五中応援団「チーム鳳」(信州型CS)

□ 運営委員会 □

- 学習支援: 講座「地域の先輩に学ぶ」等
- 環境整備: 花壇作り(幼保中の連携)
- 健康教育: けが・痛み相談と自己管理
- 公民館活動とタイアップしたボランティア活動

人権同和教育・道徳教育・特別支援教育

- ◇『五中人権宣言』開かれた学級・学年・学校づくり
- ◇差別やいじめを許さぬ心の育成と学級づくり
- ◇道徳授業の充実(問題解決的な学習を中心に)
- ◇道徳的な価値を友と共有し合う場面の設定
- ◇個別の支援計画・指導計画に基づいた特別支援教育の充実

五中人権宣言

私たちは、生徒全員が安心して生活できる五中をつくりあげていくことをめざします。

H11年10月30日

キャリア教育の充実

◇なりたい自分になるために

- 自己理解
- 働く意味と意義の理解
- 体験を通しての職業観の深化
- 社会人(地域住人)としての役割や地域との関わり
- 進路実現
- 義務教育終了の自覚と将来への展望